

今年もたくさんのブルーベリージャムがつくれました

< 環境部会 “八園会” “銀の匙” のグループ活動から >

暑かった今年の夏、毎日欠かすことなく額に汗しながら水遣りに精出してきたブルーベリーの育成活動。秋の訪れと共に少しずつ収穫が出来ようになり、今年摘み取った実の総量はなんと30kg ちかくにもなる大収穫。

しあわせの村の中にある果樹園で、例年ながらの環境部会“八園会”のみなさんの世話にしっかりと応えてくれた今年のブルーベリーたち。豊作でした。おいしい実りでした。少しずつ摘み取ってきた実を冷凍保存で確保しながら集めてきた収穫の実。

去る10月16日、環境部会“銀の匙”のみなさんの応援も得て、カレッジ調理実習室で、しあわせの村内「ワークホーム明友」の方たちを招待して、“ブルーベリージャム作り”を実施。冷凍保管していたブルーベリーがみるみるうちに甘酸っぱい香りのジャムに変身。みんなで収穫の喜びを味わい、即席の収穫祭兼試食会となりました。

試食会後は、多くの瓶詰め製品となった手作りブルーベリーを、「ワークホーム明友」の方たちにもお土産に持ち帰りいただくとともに、しあわせの村の職員の方たちにも販売したところ即完売。売り上げはしあわせの村基金にお渡しすることができました。

また来年もがんばりま〜す。

(環境部会 菅田 忠志)



学園祭に“わ”が出店

KSC最大のイベント第14回学園祭が10月11日(土)カレッジキャンパス内で開催された。

わ 本部は、会員の食文12期生の皆さんの協力で、カレーライスの販売を行った。美味しいとの評判もよく予



定の350食を大きく上回り、ご飯が足りなくなり、大慌てしました。

(本部 米倉 和子)

また国際部会も同じテントの中で美味しいベトナム料理の揚げ春巻きとうどんを販売、珍しさも手伝って大好評でした。

(国際部会 加藤 寿子)



グループ紹介

『お話糸車』

福11-文

阪田 輝夫

平成19年4月、福祉11期生12名の仲間で、グループ「糸」を結成。毎月2回の定例練習では、詩や文章を「いきいき」と表現できるような朗読を目指して、正しい発声、アクセント、呼吸法等と共に、声を出す楽しさ、作品に触れる楽しさ、表現をする楽しさを学びつつ学んだことをボランティア活動に生かそうと、朗読の他、紙芝居・エプロンシアター・大型絵本の読み聞かせ等にチャレンジし毎月2回、高齢者の施設と児童施設(保育所・児童館)を訪問し友愛を深めています。高齢者の施設では私たちの語りに、時には涙を浮かべ喜んで下さる場面も、又児童施設では訪問する度に成長している子どもたちに触れ圧倒されることも度々、素直にすくすくと成長する子どもたちの眼差しが美しく眩しく感じられる。尚、結成1年を過ぎグループ名を「おはなし糸車」と改名しグループ員一同さらに質的向上を目指し学んで行きたいと思ひます。

